



三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

新年のご挨拶

—新型コロナウイルス感染症と 向き合い、乗り越える—

院長 田中 滋己



新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスによるパンデミックのなか2度目のお正月を

迎えることとなりました。

この1年半余りの間に国内の経済や皆さんの暮らしに大きな影響を及ぼしたコロナ禍ではありますが、昨年は新型コロナウイルス感染症対策に於いて幾つかの進歩がみられました。ワクチン(mRNAやウイルスベクター)の接種が多く、国々で始まり、日本でも11月末の時点で2回接種率は総人口の約77%と報告されています。加えて昨年の秋には米国で経口抗ウイルス薬の承認申請が出されるなど、昨年1年間で感染症対策に於いては注目すべき進歩がみられています。

当院では昨年度、職員及び地域の医療従事者の新型コロナワクチン接種を行った後、高齢者や妊婦、若年者の方々にワクチン接種の協力をさせていただきました。新型コロナワクチンは100%の感染予防、重症化予防効果があるわけではありませんが、感染症のリスクと向き合っていく為には、とても重要な予防対策です。過去の感染流行時には県内の多数の医療機関で院内感染やクラスター発生が報告され、通常診療への影響がみられた病院もありました。しかし、当院は第5波を含む全ての感染拡大を通して院内感染は勿論のこと、医師、看護師やコメディカルなど患者様と直に接するスタッフで感染者を一例も認めておらず、三重県下で院内感染を認めなかった数少ない病院の一つとなっています。これは前述のワクチン接種と職員の感染対策に対する意識の高さ、感染制御

チームの努力によるもので、地域医療を担う医療機関として新型コロナウイルス感染症に向き合っており、通常診療を維持して行くことが出来たと考えております。コロナ禍で感染症と向かい合っていくためにはワクチンにより防御を固めた上でスタンダードプリコーション(標準予防策)の遵守が如何に大切かと言うことだと思います。

本稿で申し上げる「新型コロナウイルス感染症を乗り越える」とは新型コロナウイルス感染症を無くしてしまうという意味ではありません。ヒトが唯一の宿主である天然痘ウイルス等とは異なり、新型コロナウイルスを含む多くのウイルスはヒト以外の宿主を有しており撲滅することは出来ません。インフルエンザウイルスと同様に新型コロナウイルスも変異を繰り返し、感染性、毒性が変化して現在のインフルエンザのように季節性の感染症となっていくと予想されています。従ってワクチン、抗ウイルス剤が充実し外来診療、自宅療養で対応できる通常の季節性感染症となった段階で「新型コロナウイルス感染症を乗り越える」ということになります。前述したように世界は新型コロナウイルス感染症に対抗する手段を揃えつつあり、「新型コロナウイルス感染症を乗り越える」日は、そう遠くないと思っています。

その日の到来を期待しつつ「新型コロナウイルス感染症に向き合い」続けて、患者様が安心して受診出来る医療体制の提供を目指して尽力して行きたいと思っておりますので、ご支援、ご協力を賜れば幸甚です。

本年もどうぞ、よろしく願い申し上げます。



薬剤部長 佐藤 賛治

新年明けましておめでとうございます。

毎年、この記事は年男・年女が書くことになっているようで、突然のご依頼にあたふたしています。

今年2022年は、私にとって6回目の年男つまり還暦という年になってしまったわけで、そのことに自分自身が驚いています。歳を取れば取るほど月日の経つのがはやくなると言われていますが、私が昨年4月に三重中央医療センターに赴任してきて9か月が経ち、その時の流れの早さに驚いているところです。

さて、今年の干支は壬寅（みずのえ・とら）だそうです。干支というのは十干（じっかん）と十二支を組み合わせたものです。十二支はよく知られていますが、十干はあまり知られていないかもしれません。「10」と「12」の最小公倍数が「60」なので、60年で干支は一周するというわけです。ちょうど60年前の私の生まれた年1962年も壬寅でした。

「壬寅」とググってみると、干支はそれぞれに意味があって「壬寅」は「陽気を孕み（はらみ）、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるということのようです。縁起のいい年になりそうな予感がします。

新型コロナウイルスのみなさまのご苦勞が厳しい冬に例えたとすると、その後の春、つまり今年は「アフターコロナ」が到来して、従前の生活様式に戻ることができることを期待しつつ、でもまだ気を抜かずに「新しい生活様式」を意識して日々暮らしていきたいと思っています。



医療安全管理係長 栗本 淳子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。年女ということ（年齢が推測できるので困るのですが…）せっかくの機会をいただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

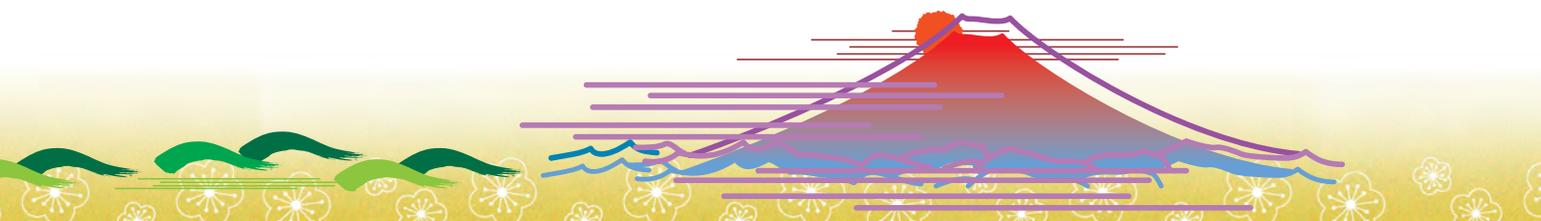
皆様は新春をどのようにお過ごしでしょうか。

私は箱根にご縁があり、その事もあって毎年箱根駅伝を見ることが習わしようになっております。走っているランナーはもちろんですが、追従しながら激励する監督、次の中継所で待つ次走者、ゴールで待つ控え選手など、多くの人の力で襷が繋がれていくことに力を頂いています。また様々なボランティア、TV中継の為のカメラマンやアナウンサー、白バイの警察官、沿道のガードマン…多くの人の協力・支えがあって成立している事を強く感じます。そのような連携を見ることも好きで、あちらこちらが気になる忙しい箱根駅伝の鑑賞でございます。

医療・病院も駅伝の襷をつないでいくように、患者様の思いを大切にしながら色々な専門職種がそれぞれの力の発揮し連携しております。また多くの事務職員や委託職員の協力があって成立しております。

私の役割の「医療安全管理係長」とは安全な医療の提供のため、現場をサポートする役割でございます。主役は患者様と病院全職員の皆様です。今年も各職種の皆様がベストパフォーマンスを発揮できるようサポートに務めて参ります。

今年も新型コロナウイルス感染症に対して決して油断は出来ませんが、皆様にとって健やかで素晴らしい1年となる事をお祈りいたします。



経営企画係長 **伊藤 大佑**

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

今年は年男ということで、36歳になります。私自身は平凡に年を重ねてきており、体が追いつかないことや、意欲がなくなってしまうことがぼつぼつと出始めました。老いていくとはこういうことなのかと、痛切に感じている次第です。

一方、この36年における世の中の趨勢を振り返ってみますと、科学技術が劇的に進歩したように思います。特にコンピュータサイエンスやICTの分野で顕著だったのではないのでしょうか。多くの情報が瞬時に処理され、世界中で共有されています。PCやスマートフォンなどの普及により情報収集・発信に関するあらゆることが端末1つでできるようになりましたし、ステイホームのお供に購入したゲーム機も、私が小さいころに出回っていたものとは別物になっています。

24年後、暦が1回りする頃にはどのようなになっているでしょうか。おそらく、さらに技術の革新が続き、今では思いもよらないような便利な世の中になっているのだらうと思います。とても楽しみです。私自身も時代の勢いに負けず、科学技術の力によって充実した日々を過ごすうちに、その年を迎えることができればと思っています。



看護師 **澤潟 穂乃花**

新年明けましておめでとうございます。今年は寅年、私は年女ということで、このようなご挨拶の機会を頂きました。

私は、三重中央医療センターに就職し、今年で4年目となります。私が勤務する整形外科・皮膚科の混合病棟では、手術やリハビリなどの治療に伴う痛みや入院から退院後の生活まで様々な不安を抱えた患者様が多く入院しています。1、2年目の頃は仕事を覚えるのに精一杯であり、患者様に何が必要か、看護面のケアでも迷い、失敗することが多くありました。しかし、患者様から「ありがとう。」の言葉をもらい、未熟な私でも患者様にできることはあると思い、今日まで看護師として楽しく働いています。思えば、私が看護師を目指したのも中学の職場体験学習で学んだ看護師の持つ力に魅了されたことがきっかけだったと思います。

当院に就職し、今は食事面での看護ケアを強化する委員会に所属しています。4年目となる今年は、食事摂取量が低下している患者様や口腔内の清潔保持のために自分ができることを考え、病棟スタッフに周知していくことに力を入れていきたいと思っています。また、患者様に対し、適切な看護ケアを提供できるよう努めると共に患者様の持つ痛みや不安を軽減できるよう努力していこうと思っています。

当院が産科医療功労者として、厚生労働大臣表彰を受けました



院長から表彰状を受けとる前川先生と美波看護師長

総合周産期母子医療センター部長 前川 有香先生

この度は、思いがけず栄えある表彰を受けることとなりました。

「産科医療功労者」となっておりますが、毎年多くのハイリスク妊婦を受け入れることができるのは、新生児の管理をしてくださるNICUの先生方とスタッフはもちろんのこと、緊急手術に応じて下さる手術室スタッフと麻酔科の先生方、外来スタッフや心理士・MSW・MAの皆さん等、周産期医療に関わる全ての方のおかげです。この機会に、改めて皆様にお礼を申し上げなければと強く思います。

また、妊婦さんの合併症を診てくださる他科の先生方や、これまで当院で周産期医療に尽力して頂いた諸先生方とスタッフにも深く感謝致します。

当院は、三重県初の総合周産期母子医療センターであるとともに、WHOの「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受けて母乳育児にも力を入れ、特定妊婦のケアも手厚く行ってくれています。さらに、コロナ禍においても、症例の受け入れ制限をせずに、コロナ対策と通常の周産期医療を両立すべく努力してまいりました。多大な業務負担とストレスを抱えながら日夜頑張ってくれている頼もしい仲間には、いくら感謝しても足りません。

先行きが不安な今日この頃ですが、今後も皆で力を合わせ、より良い医療を提供できるよう、気持ちも新たに、明るく前向きに進んでいきたいと思えます。

この度は誠にありがとうございました。



表彰状と盾



産科病棟スタッフ

ベスト・プレゼンテーション・アワード受賞



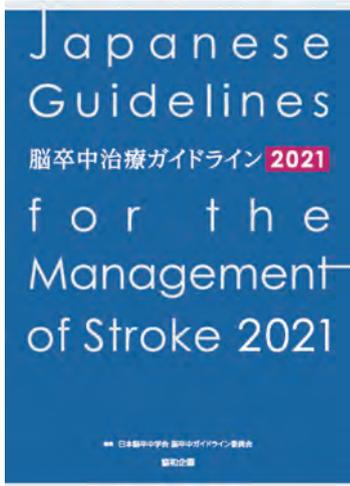
臨床研修医 中川 貴裕先生

第75回国立病院総合医学会において、当院臨床研修医：中川貴裕先生の「Glioblastoma with concomitant moyamoya vasculopathy in neurofibromatosis type 1 (膠芽腫、もやもや病、神経線維腫症1型を合併した一例)」が若手医師フォーラム症例報告部門のベスト・プレゼンテーション・アワードを受賞しました。

当院医師の論文が脳卒中治療ガイドラインに掲載されました

数値流体力学 computational fluid dynamics, CFD

患者を生かすも殺すも、匙ですくった薬の量によって決まることを匙加減（さじかげん）といい、経験豊富な優秀な医師による匙加減は有用です。一方、臨床研究や科学技術が発達した現代では、どの医師でも全ての患者さんに対して的確な医療が提供できるように、肺炎・心不全・癌などの疾患で治療ガイドラインが用意されています。



2021年脳卒中治療ガイドラインが刷新されました。致命的なくも膜下出血の原因となる未破裂脳動脈瘤についても新しい知見が盛り込まれ、そのひとつにCFDがあります。CFDはコンピューターシミュレーションで血流解析を行い、破裂リスクの高い脳動脈瘤や適切な治療方法を検討する最先端の技術です。

三重中央医療センターでは2007年からCFDを用いた脳動脈瘤の研究を継続していますが、私たちがStrokeに発表した論文が、脳卒中治療ガイドラインのCFDの根拠となる論文として掲載されました。まだエビデンスレベルが低い項目ですが、日常診療でCFDの有用性を実感している私たちにとっては、はじめての大きな一歩です。臨床現場だけでなく研究面においても、未破裂脳動脈瘤の患者さんによりの確で安心できる治療が提供できるよう、今後も努力していきます。

ボランティア活動記録

【殺風景な景色にわずかでも憩いを】という患者様から届いた1つの投書をきっかけに、取り組み始めたのが昨年のもので「花咲かせ隊」を結成しました。

今では、様々な植物が生き生きと育ち、青々と緑が生い茂っています。まだ色鮮やかになるには季節的に難しい時期ではありますが、今か今かとその時を待ちわびて、厳しい冬をじっと耐え、綺麗な花開く春を迎えるまで今なおすくすくと育っているところです。

花開き可憐な庭に変貌を遂げる際、きっと見る人の心に寄り添い、救いとなるのではないのでしょうか？ 苗を育てて寄附して下さる地域の方や、雑草を抜きに中学生が来てくれたりと、院内・院外でのあたたかい繋がりも少しずつ育っています。

当院をますます綺麗に彩ることで、患者さんが少しでも良くなっていただけることを願う。そんな前向きで心優しいボランティアさんがいるということを知ってもらえるだけでうれしい限りです。

興味のある方は是非花咲かせ隊【ボランティア】まで!!!



今春にはこんな素敵になる予定です。

【問い合わせ先】

三重中央医療センターボランティア事務局 地域医療連携室 医療相談室
電話 059-259-1211(代) 担当/津川・高橋

赴任された先生方

小児科 大槻 祥一郎

こんにちは、小児科（新生児）大槻祥一郎と申します。私は、2004年に医学部を卒業し、三重県内で小児科臨床医師として勤務してまいりました。また同時に、肺高血圧症の基礎研究を、三重大学大学院とスタンフォード大学小児科で行っております。微力ながら皆さまのお役にたてれば幸いです。よろしくお願いいたします。



産婦人科 奥村 亜純

産婦人科の奥村 亜純（おくむら あすみ）と申します。専門は胎児心臓病で、胎児心エコー認証医の資格を取得し、東京より帰って参りました。三重県における先天性心疾患の胎児診断は、全国的にみてもまだまだ遅れておりますので、総合周産期センターである当院から県内へ胎児心エコーを普及するために尽力いたします。なお、当院近隣の某有名珈琲店にて、小生がよく注文するのは「アールグレイティーラテのオールミルクのエクストラホット」でございます。宜しくお願い申し上げます。



歯科口腔外科 奥田 悠大

初めまして。2021年10月より三重中央医療センター歯科口腔外科に赴任いたしました奥田悠大と申します。愛知県出身で愛知学院大学卒業後、三重大学で初期研修を行っておりました。大学時代はバドミントンをしておりました。歯科医師になり2年目ですが、医科歯科の連携性の重要性を実感する毎日で、他科の先生方にはたくさんお世話になっております。まだまだ未熟で、いろいろとご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



「三重中央だより」についてのアンケートのお願い

「三重中央だより」をより良いものにするために、簡単なアンケートを実施しております。ご協力いただける方は、お持ちのスマートフォンからこちらの二次元バーコードを読み込んでアンケートへお進みください。

三重中央医療センター 地域医療連携室



出前！市民公開講座 開催報告

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきたことから、出前！市民公開講座を約一年ぶりに再開することができました。今後も感染状況を見ながらの開催となりますが、開催のご希望がありましたら、下記までご相談ください。また、開催にあたっては、マスクの着用・アルコールによる手指消毒・十分な換気などの感染対策をお願いいたします。

第284回 北黒田地区老人クラブ様

日時：10月20日（水）
会場：北黒田公民館
講演：体と一緒に頭も体操しよう
講師：公認心理士 室町 順之



第285回 だんらんの家栗真様

日時：10月28日（木）
会場：だんらんの家栗真
講演：人生を振り返り心豊かに認知症予防
講師：医療社会事業専門職 林 眞砂子



第286回 三重県自動車販売健康保険組合様

日時：11月5日（金）
会場：三県総合文化センター 大会議室
講演：負けない！がんを防ぐ食生活
講師：栄養管理室長 小島 章孝



第287回 一般社団法人100歳大学様

日時：12月8日（水）
会場：津市中央公民館
講演：物忘れが気になったら
講師：脳神経内科医長 北川 長生



お問い合わせ先：059-259-1211 地域医療連携室

※出前！市民公開講座のメニューは当院ホームページからご覧いただけます。

<http://www.miechuo-hosp.jp/pdf/demae/siminkouza.pdf>



—がん治療について—



緩和ケアチームに参加しています！

呼吸器外科 安達 勝利

呼吸器外科医として、主に肺がんの外科治療に携わっていますが、昨年5月から病院内の緩和ケアチームにも参加しています。今回は、緩和ケアチームのことについて話したいと思います。

がんの治療法として、手術療法、化学療法、放射線療法、免疫療法などがあります。

治療が行き詰まったとき、患者さんには様々な症状がでます。体のいろいろな場所が痛む、思ったように動けなくなる、食事がとれなくなる、便が出なくなる、精神的に苦しいなどの苦痛に襲われます。緩和ケアはこれらの苦痛をやわらげるために行われます。患者さんの担当医が必要と判断した場合、緩和ケアチームに依頼が入ります。

緩和ケアでは、様々な苦痛を治療するため、多くの職種が必要になります。当院の緩和ケアチームメンバーは医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーです。

それぞれの役割を紹介します。医師は、薬物療法を中心に痛みや息苦しさなどのつらい症状を緩和する方法を担当医に提案し、看護師は、快適な日常生活が過ごせるよう患者さんとそのご家族の相談に応じ、体や心のつらさを緩和し必要に応じて、様々な部門と連携をとります。薬剤師は、薬に関する疑問にお答えするなど薬物の使い方についてサポートします。食事が摂れないとき、管理栄養士にアドバイスをしてもらい、おいしく食事をいただけるようにします。理学療法士は、がんによって障害をうけた日常生活の諸活動の維持・向上のための訓練をします。気分の落ち込みや不安などあれば、臨床心理士が心のつらさを緩和します。そして、病状が安定し自宅に帰るために、経済的な問題、在宅療養の調整などの相談をうけ、いろいろなサービスを提供することを医療ソーシャルワーカーが担当します。

メンバーそろっての定期回診は、週1回おこなっていますが、各自不定期に患者さんを診察したり、担当医や担当看護師、他のメンバーと連絡をとったりして、常に患者さんの状態把握に努めています。

がんが進行した患者さんはたくさん問題があり、様々な専門職種が力をあわせ連携することで、大部分の患者さんの状態は少しずつ安定するようになります。ほとんどの患者さんは、自宅へ戻る希望をもってみえるため、少しでもうまく戻れるような状態にしてあげるようチームで努力しています。しかし、患者さんによっては、状態が変化していく場合があるため、自宅に戻るタイミングを逃してしまうことも事実です。病気の進み具合によっては、いくら治療しても症状が完全に改善しない方もみえるので、今後の課題はまだたくさんあります。

チームで行う医療の良い点は、他の職種の方々と話し合うことで、よりよい医療ができることです。

これからも、さらに良い緩和治療が提供できるようにチームで力をあわせがんばっていききたいと思います。

がん相談支援室 制度案内

②傷病手当金について

社会保険（健康保険証が〇〇健康保険組合や全国健康保険協会）に加入されている方が対象。

①業務外の病気やケガで療養中であること

②療養のため労務不能であること

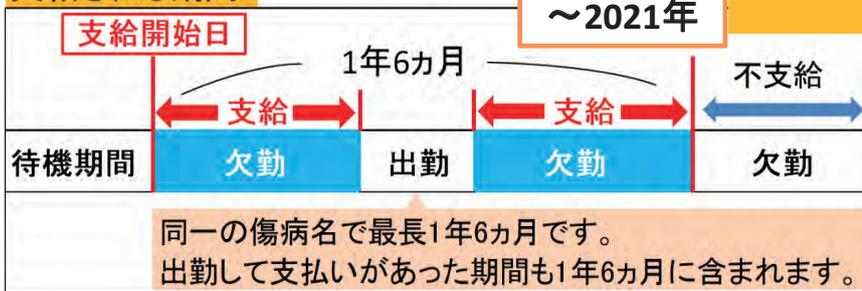
③4日以上仕事を休んでいること

・療養のために仕事を休み始めた日から連続した3日間（待機期間）を除いて、4日目から支給対象です。

④給与の支払いがないこと

退職されていない場合は加入期間に関わらず①～④の要件を満たすと支給されます。

支給される期間



2022年1月～
欠勤分を通算して
1年6か月支給されます。

現在の社会保険に1年以上継続して加入されている方は退職後でも傷病手当金が支給される場合があります。



手続き方法

①勤務先から「傷病手当金支給申請書」をもらってください。

全国健康保険協会（協会けんぽ）に加入されている方は

ホームページからもダウンロードできます。申請用紙は当院でもご準備できます。

②療養担当者の意見書については医療機関で証明しますので

以下の窓口へご提出ください。

入院中の方：病棟クラーク

外来の方：3番窓口

証明期間は勤務先によって異なるため、勤務先へご確認ください。

③勤務先へ提出いただき事業主証明欄を記載したのち

勤務先から健康保険組合や全国健康保険協会に提出いただくのが一般的です。



ご質問等ございましたら
お気軽に患者支援センターまでご相談ください。

患者支援センター ご利用方法

- ・ 開室時間 8:30~17:00
(平日の月曜日~金曜日)
- ・ 予約優先です。相談室窓口でもご予約いただけます。
- ・ **ご入院中の場合は病棟看護師へお申し出ください。**
- ・ 外来時は主治医へお申し出ください。
- ・ 医療安全に関するご相談もお受けいたします。



- ・ 日常生活でご不安なこと・困っていること
- ・ 医師からの説明等ご不明なことについて

中村めぐみ

がん相談支援
看護師



- ・ こころの悩み
- ・ 不安・心配ごとなどの相談

臨床心理士



- ・ 医療費や生活費などの経済的問題に関する相談
- ・ 社会制度、社会保険制度等紹介・利用相談

医療福祉
ソーシャルワーカー



- ・ 退院後の生活でご不安なこと困っていること
- ・ 退院先の相談・調整について

退院調整
看護師



三重中央医療センター 患者支援センター

TEL 059-259-1211(代)



「里山こころの便りー柘原の窓から」

アルコール依存症の方のご家族について

今回はアルコール依存症の方のご家族についてお伝えします。アルコール依存症を克服しようとするとき、本人の頑張りだけではなく、家族の協力が重要となります。本人のアルコールの問題について心配している家族は、つい体の不調や仕事の不調、経済的な不安などを（時に強く）指摘することがあるかと思えます。そうすると本人は反発し、家族と対立的になることがあります。家族は本人との対立に疲弊し、無力感を抱き、あるいは恐れを抱いてしまい、求められるとアルコールを与えてしまっかなか解決しないことがあります。

家族は本人をなんとかかしたいと考えているのですが、実は家族が大変な状態になっていることに気付かないことがあります。ですので、家族から「本人を受診させたいが、なかなか応じてくれない」と病院に連絡がある場合でも、家族相談として家族から話を聞き、支援することは大切だと考えています。本人と家族の二者だけの関係から、医療者という第三者が入ることで家族へのサポートができたり、トラブルによる被害から守ることができたり、本人の回復に援助することができるようになります。このために私たちは家族相談のほかに家族教室を開き、医師や看護師、心理士で家族と一緒に学び、考える機会を設けています。遠回りのように思えるかもしれませんが、実は家族の健康を回復することが、本人の健康を回復することに繋がってきます。関心がある方は、一度当院までご連絡ください。



村田昌彦

柘原病院
院長



「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

国立病院機構
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5
TEL. 059-259-1211 内
地域医療連携室

国立病院機構
三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくことに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別途公表いたします。特典は変わる場合があります。)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

■会員名
住所 _____
氏名 _____
電話 _____

編集

後記

新たな年がスタートしました。この新年号では、定番の当院選りすぐりの年男・年女の抱負を掲載しております。当院も1998年に開院し本年が、年男・年女になります。当院の抱負は、ありきたりですが「地域医療に貢献し、地域の皆様のみならず職員からも選ばれる病院を目指します。」

この号より、アンケートのQRコードも掲載しております。皆様のご意見ご感想ドシドシお寄せ下さい。
(ピー)

発行所

三重中央医療センター

院長 田中 滋 己

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL. 059-259-1211

<http://www.miechuo-hosp.jp/>

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●●

津ファミリークリニック

ホームページ： <http://www.tsu-fc.jp/>



武内病院、榊原温泉病院と同じ暁純会グループのクリニックとして、2013年11月に津市押加部町に開院しました。当院では、常勤医として3名の家庭医療専門医と非常勤2名の医師で診療を行っています。標榜科としては内科、小児科、婦人科ですが、ワクチン接種をはじめとした予防、健康増進にも積極的に関わっています。また、機能強化型の在宅支援診療所でもあり、24時間365日の往診体制をとって訪問患者様の対応を行っています。

三重中央医療センターさまには、外来患者様をご紹介させて頂いていたり、急変した訪問患者様の対応を頂いたり、日頃から大変お世話になっており、誠にありがとうございます。また、当院では医学生や研修医の教育にも取り組んでおり、貴院の初期研修中の先生に地域医療で研修に来て頂いたこともございます。

今後も近隣地域にお住まいの方やそのご家族さまの健康に関する困りごとに、最初に相談してもらえようような身近なクリニックでありたいと考えています。

院長：成島 仁人
医師：常勤3名、非常勤2名
住所：〒514-0039 津市押加部町16-46
電話：059-273-5000 FAX：059-273-5001
診療科目：内科・小児科・婦人科・訪問診療
休診日：日曜、祝日、火曜午後、土曜午後

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	△
14:30～18:00	○	△	○	○	○	△	△

たかはし内科

ホームページ： <https://doctorsfile.jp/h/137258>



生活と共にある医療、必要な時にフットワークよく対応できる医療を目指しています。三大成人病（高血圧・糖尿病・高脂血症）の治療は元より、急を要する疾患：循環器疾患（狭心症・心筋梗塞・不整脈）、脳血管障害（脳梗塞・脳出血）、急性腹症（虫垂炎・胆のう

炎・腸閉塞）、呼吸器疾患（肺炎・喘息・肺気腫）などにおいては、地域の中核病院である三重中央医療センターと連携し治療にあたっています。

院長：高橋 岳夫
住所：〒514-0035 津市西丸之内38-11
電話：059-221-1000
診療科目：内科・循環器内科（心臓検診）・消化器内科・呼吸器内科・アレルギー科
休診日：木曜午後、日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30～18:30	○	○	○	△	○	△	△
13:30～17:00	△	△	△	△	△	▲	△

※▲土曜日午後は予約の検査・面談のみとなります。

ゆたクリニック

ホームページ：<http://yuta-clinic.jp>



津市修成町で2011年に開業し、10年を迎えました。小児から大人までの耳鼻咽喉科一般診療を行うとともに、専門外来を設けています。花粉症とダニアレルギー性鼻炎の舌下免疫療法は開発から係わり、全国トップの実績があります。また、甲状腺腫瘍などの頭頸部外科、補聴器専門外来は東海地区でトップクラスの診療をしてお

り、専門性の高い診療に心がけています。「身近な診療で最新治療」を提供できるように学会活動も重視しています。

院長：湯田 厚司
 医師：湯田厚司、小川由起子
 住所：〒514-0837 津市修成町2-3
 電話：059-227-4187 FAX：059-227-4188
 診療科目：耳鼻咽喉科・頭頸部外科・アレルギー科
 休診日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○●	○	○●	○	●	○●	△
15:30～18:30	○●	○	○	△	●	△	△

○湯田院長診察 ●小川医師診察

月～木 14:00～15:30 予約専門外来併施

丸の内まつなが眼科

ホームページ：<http://www.marunouchimatsunaga.com>



津市東丸ノ内（ハクボタンビル内）に開院して10年目を迎えました。当院では患者様としっかり対話することで治療方針を相談させていただいております。そのため診察にお時間がかかる場合もあります。

閉塞（流涙）、加齢黄斑変性症などの日帰り手術にも対応しております。入院治療の必要な場合は三重中央医療センターの先生方にご紹介させていただいております。

院長：松永 功一
 住所：〒514-0028 津市東丸ノ内21-6
 ハクボタンビル3F
 電話：059-271-8811 FAX：059-271-8812
 診療科目：眼科
 休診日：木曜日、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	○	○	○	△	○	○	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	▲	△

▲：14:00～17:30

また手術設備も整えておりますので白内障、鼻涙管



外来診療担当表

●初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30~11:00までです。
●病棟入院患者様の緊急処置・手術・検査等のため、外来診療に制限を設けなければならないことがあることを御理解ください。

2022年1月1日現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	中久木 哲也【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】	
	2診	北出 卓【消】	福岡 秀介【循】	田口 由紀子【消】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】	
	3診	新谷 卓也【循】	倉田 一成【消】	坂倉 康正【呼】	渡邊 典子【消】	北出 卓【消】	
	4診	内藤 雅大【呼】	宗吉 祐樹【糖】	井田 紗矢香【糖】	西村 正【呼】	岩中 宗一【呼】	
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診		岩中 宗一(2,4,5週)	井端 英憲(午後再診)		
	呼吸器内科	6診		井端 英憲	井端 英憲	大本 恭裕	
	(整形1診)		藤本 源			大本 恭裕	
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦		中久木 哲也(午前再診)	福岡 秀介
	消化器内科	7診	子日 克宣	北出 卓	渡邊 典子	田口 由紀子	倉田 一成
	内科	8診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	井田 紗矢香【糖】	新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】		田中 剛史【糖】
		10診	坂倉 康正【呼】	内藤 雅大【呼】	内藤 雅大【呼】	奥田昌也(1,3週)【糖】 田中 崇(2,4,5週)【糖】	岡野 智仁【呼】
		(泌尿器1診)	宗吉 祐樹【糖】				
	(整形2診)		西村 正【呼】				
	腎臓内科	6診	村田 智博				
	肝臓内科	5診			吉川 恭子(1,3週)【消】		
(整形3診)					吉川 恭子【消】		
ペースメーカーチェック	第1月 午後				第1木 午前		
脳神経内科	1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	賀川 賢	北川 長生	
	2診	大内 智洋	賀川 賢	賀川 賢	大内 智洋	吉丸 公子	
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (初診以外は完全予約制)	午前	1診	井戸 正流(初診)	小川 昌宏	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	小川 昌宏	山本 和歌子	北村 創矢(2,4週)	内菌 広匡	神谷 雄作(1,3,5週) 大森 あゆ美(2,4週)
		3診	田中 滋己	櫻井 直人(初診)	大森 あゆ美	小川 昌宏	小川 昌宏
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
	午後	1診	三重大学医師	2週間・1ヶ月健診	内菌 広匡	田中 滋己(1,3,5週) 櫻井 直人(2,4週)	神谷 雄作(1,3,5週) 大槻 祥一郎(2,4週)
		2診	小児神経外来 内菌 広匡(2,4,5週)	NICU連携 (心エコー外来)	佐々木 直哉(1,3週)	内菌 広匡(1,3,5週) 神谷 雄作(2,4週)	成長外来
		3診	小川 昌宏		小川 昌宏	山本 和歌子	シナジス外来
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
外科	1診	湯浅 浩行	下村 誠	松田 明敏	信岡 祐	谷川 寛自	
	2診	信岡 祐	辰巳 亜依	谷川 寛自		湯浅 浩行(2,4週)	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)					谷川 寛自		
乳腺外科(予約のみ)					石飛 真人		
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
形成外科				石浦 良平(2,3,5週) 三重大学医師(4週)			
脳神経外科	1診	石田 藤麿		谷岡 悟	田中 克浩	石田 藤麿(偶数週)	
	2診		石田 藤麿		谷岡 悟	田中 克浩	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)						西川 拓文	
呼吸器外科	1診		安達 勝利		渡邊 文亮	安達 勝利	
	(脳外1診)		渡邊 文亮				
心臓血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科(完全予約制)		中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科	1診		長谷川 嘉弘(初診)	加藤 雅史(初診)	長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘	
	2診		荒瀬 栄樹		荒瀬 栄樹	荒瀬 栄樹(初診)	
	(整形1診)				武内 祐史郎		
産科・婦人科	午前	1診(初診)	山口 恭平	前川 有香	張 凌雲	加藤 麻耶	奥村 亜純
		2診	加藤 麻耶	日下 直子	柏原 優花	前川 有香	山口 恭平
		3診	張 凌雲		吉村 公一	吉村 公一	
		4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
	午後	1診	山口 恭平	前川 有香	張 凌雲	加藤 麻耶	奥村 亜純
		2診	加藤 麻耶	日下 直子	柏原 優花	前川 有香	山口 恭平
		3診	張 凌雲	産後一ヶ月健診	吉村 公一	吉村 公一	
		4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
眼科(木曜日は紹介状ありの初診のみ)		三羽 晃平	三羽 晃平	三羽 晃平	三重大学医師	三羽 晃平	
	午前(初診)		西田 幸平	伊藤 由紀子	西田 幸平	西田 幸平	
	(火曜日・金曜日は紹介のみ)				伊藤由紀子(2・4・5週)		
	午前(再診予約のみ)		伊藤 由紀子			伊藤 由紀子	
午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来					
放射線科(画像診断)	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕		
放射線治療 (事前予約のみ)	午前		二見 友幸				
	午後	笹岡 政宏		笹岡 政宏	二見 友幸		
リハビリテーション科		山口 敏郎		田中 雅		高北 久嗣	
歯科・歯科口腔外科 (金曜日は再診のみ)	午前	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/若林 宏紀	奥田 悠大/福原 大樹	
	午後	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/三重大歯科医	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/若林 宏紀 若林 宏紀/奥田 悠大	柳瀬 成章/若林 宏紀	
看護外来(予約のみ)	第1月曜日	透析予防外来	第2・3火曜日	透析予防外来	糖尿病外来	ストーマ外来	
		がん看護相談外来	がん看護相談外来	がん看護相談外来	がん看護相談外来	がん看護相談外来	

不整脈専門外来	形成外科外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわずれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談 要予約(自費)
月・火曜日 午前診療	水曜日 午後診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・木・金曜日 午前診療	金曜日	金曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	形成外科(石浦)	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科(吉丸)	脳神経外科(石田)
脊椎・脊髄外科専門 (要予約・紹介)	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・膿胸	中耳外来 (予約)	助産師外来 (予約)	おっぱい外来 (予約)	乳腺外科 (予約)
金曜日 (10時~12時30分)	火・木・金曜日 午前診療	火曜日 午後診療	月・水・木・金曜日 午前・午後診療 火曜日 午前診療	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療
脊椎・脊髄外科(西川)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科	産科	乳腺外科(石飛)